

いいね!

江別の魅力をみんなまで発信!

3つのイベントを同時開催 フェイスブックも開始

江別の魅力を多くの人に知ってもらおうと、行政や市民、企業など多くの人がさまざまな行動を起こしています。その中でも、初めての試みとなった3イベントの同時開催と、ネット上で江別の魅力を発信するフェイスブック「ずつと、もつと、えべつ」の新設についてお知らせします。※市では新総合計画でえべつ未来戦略戦略4「江別の魅力発信シテイプロモート」として江別市の認知度の向上に取り組んでいます。

初の同時開催 想定を超える規模に

これまで個々に開催されてきた「小麦フェスタ2014 in えべつ」と「農業まつり」そして今年初開催の「まるごと江別2014」が8月30日(土)江別市役所周辺で同時開催されました。「単独開催ではこれほどの人を見込めなかったのでは」と各関係者が話すように、江別の魅力的な素材をPRした会場は大盛況。1万5000人ほどの来場者が江別市役所周辺を埋め尽くしました。

どんなイベント?

小麦フェスタは道産小麦の魅力を発信する4年に一度の大イベントで農商工の関係者

を中心とした実行委員会が主催。パンに焦点を当てた今回は、市内パン屋の商品販売ほか、小麦に関する講演や北海道情報大学の学生チームによるプロジェクトコンマッピング「はるゆたかの夢」などを実施しました。農業まつりは江別の農業者を中心とした実行委員会が主体。安全・安心で新鮮な農産物が集結する農業の祭典で、JA道央管内の各市で開催しています。まるごと江別は江別青年会議所が主催でスイーツや創作料理など飲食も含めたさまざまな江別の宝と呼べる素材をアピールする催しです。

きっかけ

運営団体も方針も違う3

イベントの同時開催が実現したのは、今年春に江別青年会議所が協力して江別の魅力を強力に発信できないかと呼びかけたことがきっかけ。突然の提案にそれぞれ調整は大変だったよう。ただハルユタカやえぞ但馬牛のブランド化、ブロッコリーの道内生産が一位となるなど、豊富な食材に恵まれた江別の食が注目されている中で、江別の食や魅力を強力に発信するために、開催予定日の近い3つのイベントの同時開催が実現しました。今年には市制施行60周年記念の年でもあり、来年予定されている「美味しい江別」※のプロモーションを見据えた狙いもありました。

※食を通じて江別というまちを広

仕掛け人

江別青年会議所 理事長 後藤一樹さん
(藤塗装工業(株)専務取締役)

江別青年会議所とは?

明るい豊かな社会の実現を目指し、まちのために活動をする組織です。構成員は地元事業者の若手(20〜40歳)が中心です。同時開催を持ちかけた理由は? 江別には誇れる地域の宝がたくさんあります。しかし、その宝が地元の方々にあまり知られていないのではと感じていました。小麦フェスタも農業まつりも江別の魅力を凝縮した素晴らしいイベントなので、同時開催をすることでより強く江別の魅力を発信出来ると考えました。良かったことや反省点は?

市内外の多くの方々に、江別の魅力を知っていただくきっかけになったと思います。それぞれのイベントを目標に來られた方々にも、他の魅力を知っていただく機会になったことは、とても良かったと思っております。初めての試みでしたので、運営面では他団体との連携や設営の準備不足など反省点は多々ありましたが、それ以上に得るものが大きいイベントでした。

これからの展望は?

今後まちを想う方々や団体と繋がりをもって、さまざまな手法を思案しながら江別市内外の方々に「江別が好き」と思ってもらえるようなイベントに育ってまいります。





8



5



4



7



6

1. 丸の内のシェフが来江。美味しいサンドイッチの試食に大満足 [小麦フェスタ]
2. 市内のパン屋さんが大集合。飛ぶように売られていました [小麦フェスタ]
3. 江別第三小の生徒が育てたじゃがいも詰め放題 [農業まつり]
4. 江別出身のアーティスト桜庭和(さくらばひとし)さんと角山小の生徒たちが作った歌を披露 [まるごと江別]
5. えぞ但馬牛の串焼きに行列が [農業まつり]
6. クレープ、たこやき、やきとりなどたくさん美味しいメニューが勢ぞろい [まるごと江別]
7. 酪農学園大学の大学生が江別産プロッコリーのスムージーを振る舞いました [小麦フェスタ]

宝物のある江別

く発信することで、美味しい江別のイメージ定着とブランド化を進めるプロジェクト。詳しくは20ページの「こんにちば」を参照。

同時開催が実現できた背景には、強いネットワークと江別の誇る素材や人材などの存在があります。小麦フェスタで開催した丸の内シェフによる美味しいサンドイッチの作り方の講義と実演では、材料は香辛料などを除き全て江別産です。豊富な人材としては、今回市内大学の学生が協力し、それぞれの得意分野を發揮しました。江別市にゆか

成果と課題

りあるアーティストの音楽ステージでは年代を問わず多くの人が楽しむことができました。

「幅広い年齢層の来場者が多かった」ことが一つの大きな成果だと担当者は口をそろえます。お互いのイベントを来場者が行き来することで、子どもから高齢者までさまざまな層の人を呼び込み、PRすることができました。全会場を回ってもらおうと、スタンプラリーを実施するなどの仕掛けも好評でした。一方で、「別開催であれば

もっと江別の魅力を

3 回出店の機会があった」「もっと統一感を出せれば」「販売数量が対応できなかった」などの課題も残りました。

関係者に話を聞くと、同時開催できた手ごたえと共に多くの人に江別の持つ魅力を知ってほしいという想いが溢れます。住んでいる人が地元の魅力を知り、好きになること、誇りに思うことが増えればその分、地元江別を盛り上げていく力になります。市民のみなさんも一緒に江別の「いいね!」を発信していきませんか。



自由投稿
大歓迎!

「ずっと、もっと、えべつ」の投稿記事を「いいね!」「シェア」しよう!

Facebook はじめました (フェイスブック)

市内 13 の団体と市で設立した江別シティプロモート推進協議会では、江別の魅力をできるだけ多くの人にお届けするため、インターネット上の無料会員交流サービスであるフェイスブックを利用したウェブページ「ずっと、もっと、えべつ」を開設しました。

ここでは、他の団体や個人が発信する江別の情報を「シェア」することで、江別のさまざまな情報を集めるとともに、市民の皆さんの投稿により、知る人ぞ知る江別の「まちネタ」が江別の魅力として市内外の多くの皆さんに届くようなページを目指します。

* Facebook (フェイスブック) / 知り合い同士がインターネット上で交流することができるサービスで、世界最大の利用者数を誇っています。知り合いのさらに知り合いという風に情報が拡散していくのが特徴です。

* いいね! / 記事を見て「良い!」「共感した!」という意思表示をするのが、「いいね!」ボタンです。情報について気軽に反応することができます。

* シェア / リンクや画像付きの情報を自分の知り合いにも広めたいと思ったときに、自分の一言を付けて「シェア」ボタンを押すだけで知り合いに情報を送ることができます。Facebook の機能のことです。

【詳細】江別シティプロモート推進協議会
事務局 (政策推進課内) ☎ 381-1033

ずっともつとえべつ

検索

<https://www.facebook.com/ebetsucity>

